

押し開けられた満

外から中へ、小さな小さな孔をくぐって漏れ出す自然によって空間は満たされます。



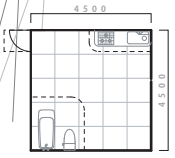
# Injected Housing

古来より、人が生活する空間は自然環境から身を守るためのシェルターとしてありました。そこには、ただただ穏やかに風雨を運び、安寧な寝床としての空間が存在していました。それはつい最近まで、風が、雨が、吹き込んでくるような建築でした。障子のような紙のできた非常に華やかな建具によって、外部と内部の境界を区切っていました。でも華奢であるがゆえに、建築の内部と外部環境との関係は常に緊張感のあるものになっていたように思えます。

## Injected environment



2mmの鉄板に開かれた空間に穿たれた□400mmの開口と高さ100mmのスリットには、ガラスも何も嵌め込まれていません。そこからは雨が雨、さらには春には桜の花びら、秋には紅葉した落ち葉がきつと入ってくるでしょう。生活空間に周辺環境が **INJECT** されるのです。



しかし現在の技術は徹底的に雨を、風を、空気を、そして周辺環境を分離することを目指し、そしてそれを私達は享受してきました。



ピンホールといえるような極限的な孔ではなく、窓というほど大きくもないこの開口部からは、ともすると気付かないほど、雨や風はほんの少ししか入ってきません。しかし、その極少量入りこんでくる自然環境こそが私達の身体感覚を刺激し、極限まで高めるのです。

外側を完全に遮断しているように見えるこの建物の中に入り、自身の身体感覚を最大まで拡張していった時、その空間を満たしている自然に気付くことでしょう。

溢れ出す身体